

北 翔



2017 新年号

一般社団法人 北海道ビルメンテナンズ協会

も く じ

ごあいさつ (一社)北海道ビルメンテナンス協会 会 長 山田 春雄	1
北海道知事 高橋はるみ	2
札幌市長 秋元 克広	3
表彰 (北海道社会貢献賞)	4
北海道・東北BM協議会	5
経営セミナー	5
第54回優良従業員表彰式	6
平成28年度労働安全衛生大会	8
平成28年度労働災害防止論文	16
平成28年度労働災害防止標語	21
新会員紹介	23
各地区協議会トピックス	23
製品情報	29
ビルメンひろば	32
編集後記	34
広 告	35

表 | 紙 | 説 | 明

<エゾフクロウ>

昔から人々に親しまれてきたが、開発により数が減っている。

今年はこの場所では「子育て」をしているエゾフクロウを撮影することができませんでした。

去年は1羽「ヒナ」が巣立ちました。

エゾフクロウのほほえましい姿は人気が高いです。

2015年11月10日

標茶町 かやぬま 茅沼 (撮影場所)

撮影者 (株)東洋実業釧路営業所 菊地 利長 さん



年頭のご挨拶

「ビルメン業界の新たな飛躍に向けて！」

一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

会長 山田 春雄

新年明けましておめでとうございます。

平成29年の輝かしい幕開けにあたり謹んでお慶び申し上げます。

さて、近年の我が国を取り巻く情勢は、国の安全保障体制や海外で多発するテロ・内戦、緊迫化する近隣諸国との関係、TPPの方向性、英国のEU離脱、米国の次期大統領の施政方針などにより、非常に厳しい状況に直面しております。

このような中、ビルメンテナンス業界もデフレ経済から一応脱却はしたものの、国の経済政策や日銀の金融緩和政策などの効果の実感は薄く、また、深刻化する人手不足や最低賃金の大幅なアップなど、依然として厳しい経営環境は変わることなく、当協会の会員企業も大変な苦勞をしております。

これらに対応した新たなビルメンテナンス協会として組織を充実・強化するため、全国ビルメンテナンス協会は、平成32年度の達成を目標に、「社会的価値を創出し、業界をリードする存在になるとともに、ビジネス環境の整備を主導して、会員の発展に寄与する。」という高邁なビジョンを掲げてその実現に取り組んでおります。

その具体的な事例として、ビルクリーニング技能士の検定試験を単一等級から複数等級に改正し、新たに一級から三級などが設定されたことにより、障がいのある方や外国人にも技能士の道が開かれ、より多くの方が仲間に入っただけになりました。

また、外国人の技能実習制度にビルメンテナンス業も追加され、本年度からベトナムなどの実習生を受け入れておりますが、今後は、北海道でも実習生を受け入れることなどにより、業界の発展に大いに寄与することを期待しております。

また、全国協会の独自資格制度でありますイ

ンスペクター制度が改正され、これまでの三つの資格から一つに統合され、資格を取得するまでの期間が短縮されたことに伴い、より多くの方々が資格を取得されることを期待するとともに、当制度が着実に推進され実績を積み重ねることにより、早期に社会的に認知され、近い将来、国家的資格になることも大いに期待しております。

このような状況の中で、北海道協会も全国協会の事業に全面的に協力することとしておりますが、会員の減少や厳しい財政状況などから、組織体制の強化対策や財政の見直しなどにも独自に取り組んでおります。

しかしながら、当業界を取り巻く厳しい経営環境の根源的な課題は、ビルメンテナンス業務の役務契約において、ビルのオーナーである発注者には、賃金や法定福利費などの負担義務がないことであるため、「発注者も最低賃金や法定福利費等の負担に対する保障責任を負うこととする。」という労働関係法令の改正を早急に行う必要があります。

この実現のために、北海道協会としては、顧問の国会議員・道議会議員・札幌市議会議員や、入札の改善要望において国・道・市などにも働きかけておりますが、各都府県協会においても同様の働きかけをして、全国津々浦々から声を上げることも重要であります。

さらに最も肝要なことは、その先導役として、全国協会が全国ビルメンテナンス政治連盟や自民党の国会議員で構成しているビルメンテナンス議員連盟と密接に連携を図りながら一丸となって、厚生労働省をはじめとする関係省庁などに強く働きかけをしていただき、労働関係法令の改正を一日も早く実現して、「業界をリードする存在として、会員の発展に寄与する。」ことにより、新たな飛躍の年になることを心から念願しております。



年 頭 所 感

北海道知事

高 橋 はるみ

新年明けましておめでとうございます。

皆様とともに新春を迎えることができましたことを、大変うれしく思います。

昨年を振り返りますと、3月に道民の長年の夢であった北海道新幹線が開業しました。

北海道の歴史に新たな1ページが刻まれ、道外との交流拡大の大きな弾みとなりました。

スポーツの分野では、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの道産子選手の活躍や、北海高校の夏の甲子園準優勝、北海道日本ハムファイターズの十年ぶりの日本一、北海道コンサドーレ札幌のJ2優勝など、明るい話題が続き、道民に勇気と感動を与えてくれました。

また、食や観光の海外への売り込みや、安心して子育てできる環境づくり、医療・福祉サービスの確保など、地域創生に向けた様々な取組を進め、次への飛躍に向けた確かな礎を築くことのできた一年であったと思います。

一方で、8月から9月にかけて相次いだ記録的豪雨により、道内各地で未曾有の被害が発生しました。お亡くなりになられた方々とそのご遺族の皆様にご心からお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。依然として、道民生活や地域産業に大きな影響が残っており、道としては、被災地域の速やかな復旧・復興に向け、引き続き国や市町村などと総力を挙げて取り組んでまいります。

今年は、これまで進めてきた地域創生を一層推進し、次のステージへと押し上げていく年にしたいと考えています。

海外戦略の新たな展開に向け、若者の海外留学への支援など本道の未来を担うグローバル人材の育成に取り組むほか、昨年シンガポールに設置したアセアン事務所を拠点として、北海道ブランドの発信や市場開拓、投資の呼び込みなどを強力に推進するとともに、新たな航空路線

も活用した農水産物の販路拡大に取り組むなど、道産食品の一層の輸出拡大を図ります。

また、ICT等の先端技術を活用したスマート農業など、攻めの農林水産業を展開するとともに、中小・小規模企業の振興をはじめ、新エネルギーの開発や活用促進、健康長寿産業の振興など、次世代を担う成長産業の創造に取り組みます。

持続可能な活力ある地域づくりを進めるため、結婚、出産、子育てとそれぞれの段階に応じた切れ目ない支援を強化するとともに、東京に開設した「移住定住情報センター」を核とした情報提供や北海道版「生涯活躍のまち構想」の普及など「北海道暮らし」の魅力を創造・発信し、道内に人を呼び込み、定着を促してまいります。

多くの道民の皆様から不安の声が寄せられているJR北海道の事業範囲の見直しについては、地域の皆様と連携・協力を図りながら、道としての役割をしっかりと果たしてまいります。

また、全国的にも例のない道内七空港の一括民間委託の取組を進め、空港の機能強化や航空ネットワークの充実により、広域観光やインバウンドの振興、さらには、北海道全体の活性化を図ってまいります。

こうした取組を通じて、北海道の新しいキャッチフレーズである「その先の、道へ。北海道」に込められた思いを形にしていくため、北海道の無限の可能性を信じ、本道が有する潜在力を十二分に引き出しながら、道民の皆様とともに「輝きつづける北海道」の実現に向けて全力を尽くしてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、希望に満ちたすばらしい年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年 頭 挨拶

札幌市長

秋 元 克 広

新年おめでとうございます。

年頭にあたり謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は、北海道日本ハムファイターズが10年ぶり三度目の日本一に輝いたほか、北海道コンサドーレ札幌が見事J2優勝とJ1昇格を果たし、スポーツがもたらす夢や感動、その力というものをあらためて実感する一年であったように思います。

一方で、熊本地震や度重なる北海道への台風上陸など、自然の恐ろしさを目の当たりにした年でもありました。札幌市では、市有施設で断熱材落下の問題が発生し、これら施設の改修などに真摯に取り組んでまいりましたが、このような事態をいかに防ぐか、起きたことにどう対処すべきかを今一度考えなければならないと強く感じたところです。

就任2年目の昨年は、街全体が「躍動」する年にしたいとの思いで市政運営を進めてまいりました。任期折り返しとなる今年も「市民感覚」を大切に行政運営に引き続き全力で取り組んでまいります。8月には音楽家の大友良英さんをゲストディレクターに迎え開催する札幌国際芸術祭が控えており、現在、これに向けた準備を着々と進めております。

また、北海道新幹線の札幌延伸を見据えた札幌駅周辺のまちづくりや、多くの集客交流が見込める大規模な国際会議が開催可能なMICE施設の整備に向けた検討を進め、市内経済の活性化を図ってまいります。さらに、保育料の負担が最も大きい3歳未満の児童を対象に、第2子

の保育料無料化を実施するなど、社会全体で子育てを応援し、子どもを生み育てやすい環境づくりを進めてまいります。このほか、高齢者が持つ知識や経験を社会で生かしていくための基本方針の策定や、各種ハザードマップ（災害予測図）の更新などを実施し、誰もが生き生きと安心して暮らせるまちづくりを加速させてまいります。

さて、いよいよ今年2月には2017冬季アジア札幌大会が開幕いたします。今大会の選手・役員を含めた参加人数は、1972年の札幌冬季オリンピックを上回る約2,300人で、これまでのアジア大会で最大規模になる見込みとなっております。ぜひ会場に足をお運びいただき、スポーツの熱気や感動、迫力を肌で感じていただきたいと思っております。また、大会期間中には国内外から多くの方が札幌を訪れます。これを機に、札幌や北海道の魅力をよく知っていただけるよう、心のこもったおもてなしでお迎えし、ウインタースポーツの拠点都市としてのブランド価値を一層高め、オール札幌・オール北海道でオリンピック・パラリンピックの招致に向け取り組んでまいります。

今後も、私たちの愛してやまないこの街を、さらに豊かな形で次の世代に引き継いでいくため、私が目指す未来の札幌の姿「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」と、「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」の実現に向け前進してまいります。

どうか本年も、皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成28年度
北海道社会貢献賞 生活衛生関係功労者
(建築物環境衛生功労者)

北海道知事表彰である北海道社会貢献賞を、理事 阿部 勲 氏と理事 川口 孝志 氏が、永年に亘り建築物環境衛生団体における業界の指導育成等に多大なる貢献をしたご功績が認められ、受賞しました。

表彰式は、平成28年11月14日(月)13時30分から、道庁赤れんが庁舎で執り行われました。

栄えある受賞を心からお慶び申し上げますとともに、今後とも当業界の指導育成にご尽力いただくことをご期待しております。



阿部 勲 理事



川口 孝志 理事



北海道社会貢献賞 生活衛生関係功労者



阿部理事 川口理事

平成 28 年度 北海道・東北 BM 協議会 (福島県郡山市)

平成28年9月29日(木)～10月1日(土)

郡山市のビューホテルアネックス他において、北海道・東北地区のビルメンテナンス協会の関係者72名が参加し、開催されました。

特別講演では、福島県立博物館長の赤坂憲雄様から、「司馬遼太郎 東北をゆく」と題してご講演をいただきました。

会議では、「新しい入札制度及び契約形態について」全国協会の堀口常務理事と東北地区本部の伊藤本部長から事例紹介があり、その後、各道県協会の取組状況の報告や意見交換を行いました。



経営セミナー

平成28年12月9日(金)午後3時より京王プラザホテル札幌で開催し、108名が参加しました。

講演内容

講師 松本 卓三氏

(公社)全国ビルメンテナンス協会 専門委員、マネジメント21代表

演題

- 1部 総合評価方式の普及促進に対するビルメンテナンス企業としての対応準備策について
- 2部 最低賃金1,000円時代と人手不足を乗り越える契約改定対策について



第54回 優良従業員表彰式

平成28年11月22日(火)12時45分から、京王プラザホテル札幌で、ご来賓、企業代表など多数のご出席をいただき、開催しました。

平日開催は本年度で7回目になります、会員企業において、日ごろの清掃や設備管理業務等に精励し永年の努力が認められた優良従業員89名と、当協会が募集した平成28年度労働災害防止論文・標語の入選者9名の方々が受賞され、表彰の栄誉に輝いた皆様に心からお祝い申し上げます。

表彰式は3階「雅の間」で行われ、開会の辞を岡田副会長、山田会長の式辞、ご来賓の北海

道知事 高橋はるみ 様（代理 八木健太 保健福祉部健康安全局食品衛生課長）、札幌市長 秋元克広 様（代理 石田宗博 札幌市保健福祉局保健所生活衛生担当部長）にご祝辞をいただき、ご来賓の紹介・祝電の披露があり、その後、優良従業員一人ひとりが紹介され受賞者を代表して深川美装(株)丹羽みどりさんに表彰状と記念品が授与され、労働災害防止論文・標語入選者へ表彰状、記念品が手渡されました。

引き続き、受賞者を代表し日盛ビル管理(株)の井上裕正さんから謝辞があり、石田副会長の閉会の辞で表彰式は終了し、記念撮影後、3階「扇の間」で祝賀会が催されました。



岡田副会長 開式の辞



来賓席



優良従業員 受賞者 全体



受賞者代表 丹羽みどりさん（深川美装(株)）



謝辞 受賞者代表 井上裕正さん（日盛ビル管理(株)）



石田副会長 閉会の辞

■ 優良従業員と労働災害防止論文・標語の入選者 ■



第54回 優良従業員受賞者



平成28年度 労働災害防止論文・標語入選者

平成28年度 労働安全衛生大会

(一社)北海道ビルメンテナンス協会の主催で厚生労働省北海道労働局の後援を受け、全道8地区で総勢176社、529名の参加者を得て開催しました。

また、厚生労働省北海道労働局長 田中 敏章 様のメッセージを各開催地で紹介しました。

【メッセージ 全文】

平成28年度一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会の労働安全衛生大会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

これも、北海道ビルメンテナンス協会長をはじめ、役員の皆様及び会員事業者、労働者の方々の、日頃からの労働災害防止に対する熱意の賜物であり、敬意を表する次第です。

また、ビルメンテナンス業に携わる皆様方におかれましては、日頃より労働者の安全と健康確保対策など労働安全衛生行政の推進につきまして、格別の御理解と御協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

さて、北海道内の平成28年9月末現在の労働災害発生状況をみますと、死亡者数は40人と前年に比べ7人、率にして14.9%減少し、休業4日以上の死傷者数は、4,144人と前年に比べ50人、率にして1.2%減少しております。

ビルメンテナンス業における平成28年9月末現在の労働災害発生状況をみますと、死亡者数はゼロ、休業4日以上の死傷者数は、113人と前年に比べ34人、率にして23.1%と大幅に減少しています。

災害の内容をみますと、床や通路等での転倒が46.0%、はしごや階段等からの墜落・転落が17.7%となっており、これらの労働災害防止対策を一層推進することが重要であります。

本年度は第12次労働災害防止計画の4年目となります。

北海道労働局では、平成24年と比較して平成29年までに、死亡者数を20%以上、休業4日

以上の死傷者数を15%以上減少させるという2つの大きな目標を掲げ、目標達成に向け、皆様と共に全力で行政を展開しているところです。

第12次労働災害防止計画の推進状況について申し上げますと、平成27年の死亡者数は前年と同数の65人、死傷者数は前年と比べ176人、率にして2.6%減の6,568人となっております。この状況で推移しますと、死傷者数についての目標達成は大変厳しい状況となっております。

次に、健康確保対策では、御承知と存じますが、昨年12月1日からは、労働者に対してストレスチェックを実施することが義務となっております。なお、労働者50人未満の事業場は当面の間努力義務ではありますが、ストレスチェック制度の導入を契機として、メンタルヘルス対策の推進をお願いします。

ビルメンテナンス業につきましては、業務が多岐にわたっており、「高齢労働者が多いこと」、「就業する場所が顧客の施設であること」、「就業場所が分散し、かつ小人数で就労すること」など業界特有の課題があります。

本大会を契機として、経営首脳の方々が率先して安全衛生教育、危険予知活動やリスクアセスメント、メンタルヘルスなど、安全衛生活動を展開し、労使一体となった取組を進められ災害ゼロをめざしていただくよう強く期待いたします。

結びに、一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会のますますの御発展と、会員事業場の更なる御繁栄並びに御参会の皆様様の御健勝を祈念申し上げます。

本年は、全国協会が推奨し、中央労働災害防止協会で開催している集団支援を利用して、8地区協議会（北見・室蘭・函館・苫小牧・十勝・釧路・札幌・旭川）で、「安全配慮義務と職場巡視」をテーマに労働安全関連法で定められている事業者の責務・労働者の責務、労働災害防止のための教育など、安全配慮義務が必要とされる背景など、具体的な事例を示し講演をしました。

1 北見地区大会

- (1) 10月11日(火)13:30～「ホテル黒部」で28社94名が参加し、紅屋事務局長の司会進行で始まり、小林副会長の開催挨拶、主催者として道協会 左海労働安全衛生委員長より日頃の協会活動協力への感謝と労災事故撲滅への取り組みについて、より一層の協力をお願いする旨の挨拶があり開会しました。講義・講演終了後、辻本理事の閉会挨拶があり、労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。
- (2) 講義……北見労働基準監督署 安全衛生課長 山田 裕 様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止等について」と題して、全産業・北海道の労働災害状況は、減少傾向であるが、ビルメンテナンス業は200件

台で推移しほぼ横ばいである、北見管内の状況は本年1月～8月までの集計で1件（前年9件）あり、前年の異常な増え方から見ると、業界全体で改善に向けた取り組みが統計に表れたと考えております。

今後も労働災害防止活動を推進してもらいたい。また、災害事例の解説では、全国の死亡災害を具体的な墜落・転落・転倒防止の留意点を解説し、リスクアセスメント推進や、ストレスチェック・化学物質リスクアセス等法改正を解説いただき、安全衛生教育・訓練を充実させ、災害事例などを共有し、安全対策を一人ひとりが日々実践する事が大切であるとお話された。



小林副会長 開催挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



北見労働基準監督署 安全衛生課長 山田様の講義



労働安全衛生大会 参加者



中央労働災害防止協会 中野様の講演



辻本理事 閉会挨拶

2 室蘭地区大会

- (1) 10月13日(木)13:30～「ホテル サンルート室蘭」で7社62名が参加し、中川事務局長の司会進行で始まり、安藤会長の開催挨拶、主催者として道協会左海労働安全衛生委員長の挨拶があり開会しました。

講義・講演終了後、藍原副会長の閉会挨拶で今日の講義・講演を、各社・1人ひとりが災害防止“0災”への糧として災害撲滅に取り組もうと、“ご安全に”の一声で閉会しました。

(2) 講義……室蘭労働基準監督署 副署長 加藤 孝 様が「ビルメンテナンス業の労働災害防止について」と題して、管内の災害状況を解説し、室蘭の天候特性“風が強い”土地柄を踏まえ、ロープ高所作業時の注意や、全産業で一番多い転倒災害、特にビルメンテナンス業では、災害の約50%を占めている現状を、感覚的に“すべった・転んだ”と軽微な事故と考えているのではないかと、疑念を語られた。実際に、休業4日以上 of 災害報告では90日以上が3分の1あり、主

に手足の骨折です。転倒災害を軽微な事故と考えず、本気で業界を挙げ転倒災害防止を推進する事が肝要であり、厚生労働省のホームページ「STOP！転倒災害プロジェクト」について話された。法令改正では、化学物質に係るリスクアセスメント、ロープ高所作業、ストレスチェック制度を話された。作業者の不安全行動なくす、「知識・技術・態度」の教育や現実的な安全管理体制が必要と話された。



安藤会長 開催挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



室蘭労働基準監督署 副署長 加藤様の講義



労働安全衛生大会 参加者



中央労働災害防止協会 副所長 吉村様の講演



藍原副会長 閉会挨拶

3 函館地区大会

(1) 10月14日(金)13:30～「函館五島軒本店」で35社59名が参加し、野戸監事の司会進行で始まり、阿相会長の開催挨拶、主催者として道協会左海労働安全衛生委員長の挨拶があり開会しました。
また函館労働基準監督署 署長 山家 幸雄 様のご来賓挨拶をいただき、第12次労働災害防止計画（平成25年から29年）の5年間の取り組みについて、目標「死亡者数を5年間20%減少」「死傷者数を15%以上減少」を掲げ推進中であるが、なかなか労働災害が減少しない状況であり、特に全産業、

ビルメンテナンス業で、一番多い「転倒災害」を無くす・減らす事が目標達成への近道であり、皆様の各職場でも積極的に転倒災害防止活動の推進を強く語られた。
講義・講演終了後、南副会長より閉会挨拶があり、労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。

(2) 講義……函館労働基準監督署 安全衛生課長 富塚 豊 様が、冒頭「良い会社」について参加者に問われ、法政大学・坂本教授が語られたお話しの一部が紹介され、大切な順に、社員（家族）、外注先、顧客、株

主であり、社員が生き生きと働いている会社です。監督署として会社訪問時、感じることは、“良い会社”の定義に共通すると思えますと語られ、また監督署に災害報告を提出時、労働災害防止の取り組みの問いに疑問に思う返答があると話された。また今回のテーマ「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」について用意され

た各種リーフレットの要点を絞り、分かり易く説明いただいた。

特に、健康診断後のフォローの大切さ、転倒災害防止の取り組みでは転倒防止体操の紹介や、会社組織で推進し転倒防止に役立ててほしいと語られた。法令改正では、ストレスチェック、化学物質のリスクアセス・ロープ高所作業等を詳しく解説いただいた。



阿相会長 開催挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



函館労働基準監督署 署長 山谷様の来賓挨拶



函館労働基準監督署 安全衛生課長 富塚様の講義



中央労働災害防止協会 副署長 吉村様の講演



南副会長 閉会挨拶

4 苫小牧地区大会

- (1) 10月18日(火)13:30～「苫小牧市民会館」で10社53名が参加、水野事務局長の司会進行で始まり、阿部会長の開催挨拶、主催者として道協会左海労働安全衛生委員長の主催者挨拶があり開会しました。
講義・講演終了後、苫小牧地区協議会 福士副会長の閉会挨拶で労働災害撲滅を誓い、閉会しました。
- (2) 講義……苫小牧労働基準監督署 副署長 伊原 秀明 様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、ビルメンテナンス業の災害状況・推移・統計をもとに説明され、全産業で過去50年間の死亡者数が平成27年に1,000件を初めて

切り972人と話され、苫小牧管内の4日以上以上の死傷者数は、過去5年で7件から13件で、北海道では特別多い地域ではないが、労災の中で、転倒災害が一番多く、軽微な怪我から骨折し30日以上を負傷するケースもあり無視できない災害であり、特にこれから冬期に多く報告され、一人ひとりが、身なり・履物、作業手順等を見直し災害減少に取り組まなければなりません。ビルメン業の特徴として、高齢者・作業環境、北海道地域性などあるが、特別な工夫を行う必要がある。法改正関連では、「ロープ高所作業の特別教育」の解説があった。



阿部会長 開催挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



苫小牧労働基準監督署 副署長 伊原様の講義



労働安全衛生大会 参加者



中央労働災害防止協会 副所長 吉村様の講演



福士副会長 閉会挨拶

5 十勝地区大会

- (1) 10月19日(水)13:30～「とちか館」で16社45名が参加し、高氏事務局長の司会進行で始まり、後藤会長の開催挨拶、主催者として道協会労働安全衛生委員会 西村委員の挨拶があり開会しました。講義・講演終了後、宮前副会長の閉会挨拶で労働災害撲滅を誓い、閉会しました。
- (2) 講義……帯広労働基準監督署 安全専門官 瀬戸 神津太郎 様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、帯広管内の災害状況では、過去10年間の死亡災害が0件、過去7年間の死傷者数96件で、転倒が4割、墜落・転倒が約2割で50歳以上で8割を占め、一番多い転倒災害を減少させる事が、一番の改善活動であり、

冬季期間まさに、12月からの4ヶ月が転倒事故が多発する時期であり、厚生労働省のインターネットサイトで“転倒災害防止”に特化したページを公開しております、これらを参考にさせていただき参加企業・業界全体でが真摯に取り組むことが、災害減少の近道であります。また健康対策では、健康診断事後措置・化学物質・ストレスチェックについてリーフレットのポイントを話され、死亡災害事例の中で話された墜落・転倒災害、法令改正「ロープ高所作業」についてリスクアセスメントを推進し、事前に危険の程度を認識し行動することで災害防止、減少になると話された。



後藤地区協会長の挨拶



西村労働安全衛生委員 主催者挨拶



帯広労働基準監督署 安全専門官 瀬戸様の講義



労働安全衛生大会 参加者



中央労働災害防止協会 安全管理士 齋藤様の講演



宮前地区協副会長の閉会挨拶

6 釧路地区大会

- (1) 10月20日(木)13:30～「釧路市交流プラザ さいわい」で22社48名が参加し、釧路地区協議会 竹林 氏の司会進行で始まり深井 会長開催挨拶、主催者として道協会労働安全衛生委員会 西村委員の挨拶があり、開会しました。

講義・講演終了後、白井副会長の閉会の挨拶では、今回の講義・講演を“現状”と“対応”と纏められ、管理者として、単に“気を付けろ”だけでなく、講義内容を実践し参加者・業界を挙げ“ゼロ災害”を目指し、労災撲滅を誓い閉会しました。

- (2) 講義……釧路労働基準監督署 安全専門官 朝井 寛之 様の「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、管

内の災害発生状況・災害防止対策（最近の法改正等）・その他の安全対策について講義いただき、釧路管内の災害発生状況では事故の型・起因物・年齢・時間帯・発生月の解説、特に50歳以上の労働者の構成が高く、事故の型で一番多い転倒災害は、12月から4ヵ月（冬季）が多発する時期であり、転倒災害を減少させる事が参加企業・業界で災害減少の近道である。法改正では、化学物質リスクアセスについて、製品の取り扱い、表示しているマーク、SDSシートを有効に使用し事故が起きない、起こさないリスク管理を話され、自主的な安全活動と職場のコミュニケーションの大切さを話された。



深井会長 開催挨拶



西村労働安全衛生委員 主催者挨拶



釧路労働基準監督署 安全専門官 朝井様の講義



労働安全衛生大会の参加者



中央労働災害防止協会 安全管理士 齋藤様の講演



白井副会長 閉会挨拶

7 札幌地区大会

- (1) 11月7日(月)13:30～「ビルメンテナンス会館」で30社65名が参加し、伏木副会長の司会進行で始まり、川口会長の開催挨拶、主催者として道協会 左海労働安全衛生委員長の挨拶があり、開会しました。講義・講演終了後、伏木副会長より閉会挨拶があり、講話内容・配布資料を各社の安全衛生活動を通じフィードバックし、災害撲滅に活用願いたいと話され閉会しました。
- (2) 講義……札幌中央労働基準監督署 安全衛生課長 鈴木 力 様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題し、災害統計（状況）で、全産業で死亡災害数は、全国都道府県で北海道が常にワースト“1、2”の位置であり、北海道の4日以上の死傷者数の推移は、平成21年より右肩上がりが増加し、平成27年に前年を下回

り、今年の9月の集計でも、減少し10月以降四半期報告次第で、ここ数年の傾向を逆転すれば良いと思う。清掃業の災害は、型別で転倒災害が1番多く、例年と同じく推移している、これからの冬季の季節要因が転倒災害を増加させます。北海道労働局で作成している「冬季災害ゼロ転倒防止運動」を参加企業・業界で積極的に推進し活用いただき、転倒災害を激減させる事の重要性を語られた。災害事例では、過去10年間の死亡事故を解説、法改正では「化学物質リスクアセス」をポイントを絞り、解り易くお話いただき、ビルメン業界で一番多い転倒災害について、経営のトップが率先して安全衛生教育に力を入れ、リスク・安全への意識を高め事故防止に努めるようお話がありました。



伏木理事の司会進行



川口会長 開会挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



札幌中央基準監督署 安全衛生課長 鈴木様の講義



中央労働防止協会 所長 池田様の講演



労働安全衛生大会 参加者

8 旭川地区大会

- (1) 11月17日(木)13:30～「北洋ホール」で31社103名が参加し、小杉事務局長の司会進行で始まり、山田会長より開催・主催者挨拶があり開会しました。
講義・講演終了後、小杉事務局長より閉会挨拶があり、講話内容・配布資料を各社の安全衛生活動を通じフィードバックし、特に旭川地区は“無事故・無災害”で「ゼロ災害」を宣言し、閉会しました。
- (2) 講義……旭川労働基準監督署 副署長 高木 俊介 様が「ビルメンテナンス業の労働災害防止について」と題して、配布資料を基に、本年10月現在の全産業の災害状況を話され、死傷者数は前年に比べ64件減少しているが、長いスパンでも右肩下りであり、ただビルメンテナンス業は、ほぼ200件で推移し、横ばいである。事故の型別では、大半をしめる転倒・転落（脚立）の防

止推進が肝要。死亡災害事例の解説、ビルメンテナンス業における労働災害防止のためのガイドラインのポイント（中災防）から災害防止上の主な課題・作業別の災害の問題点・危険予知活動とリスクアセスメントを取り上げ、問題点・課題を話され、厚生労働省のサイト“職場のあんぜんサイト”の情報の活用を紹介された。北海道冬季災害ゼロ転倒防止運動のリーフレットを積極的に活用し参加企業の安全活動に取り入れ、冬期間に急増する「転倒災害」を激減させる活動を推奨された。法改正では、「ストレスチェック」について説明され、メンタル疾患に関する無料相談を北海道産業保健総合支援センターの活用、最後にリスクアセスメントを推進し、KY活動・ヒヤリハット・正しい作業手順、リスクの見える化が、大切であると話された。



山田会長 開催・主催者挨拶



労働安全衛生大会 参加者



旭川労働基準監督署 副署長 高木様の講義



中央労働災害防止協会 副署長 吉村様の講演



労働安全衛生大会 参加者



小杉事務局長 閉会挨拶

平成28年度 労働災害防止論文 金賞

業務災害体験と対策

北海道クリーン・システム株式会社 高橋 剛

私は、4つからなる大規模な商業施設と2つのテナントビルを管理するリーダーとして、清掃業務に従事しております。清掃スタッフは、男女を合わせて46名であり、日々お客様が当施設を安心してご利用頂けるように努めております。

その様な中、商業施設のお客様用トイレで、洗面台に付いている水石鹸を補充する時の事です。補充容器を誤って落としてしまい、隣の洗面台をご利用されていたお客様へ水石鹸をかけてしまうということが起きました。また、その時の清掃スタッフの謝罪や対応が、お客様に十分に伝わっておらず、クレームを頂く結果となりました。これを受けて、スタッフ全員で原因を検討したところ、①備え付けられているタンク自体が小さいこと。②補充の回数が多いこと。③補充容器が扱いにくいので、作業に時間がかかること。④予期せぬ事態において、お客様に対応出来る清潔なタオルを持っていなかったこと。⑤とっさの初期対応において、お客様へ謝罪を伝えることが難しいこと。

これらの意見から再発防止策を検討して、対策を進めることとしました。まず、備え付けのタンクが小さく、日に数回の補充が必要であったため、オーナー様と協議をして大きいタンクを取り付けて頂きました。また、日々の補充容器は、皆で選定し、扱いやすい物に変更しました。

その結果、営業時間前の朝1回の補充をすることで、営業中の補充は不要となり、作業上の

リスクを最小限にすることが出来ました。注ぎ易い補充容器に変更したことで、作業時間も大幅に削減する効果も生まれました。さらに、いかなる事態にも対応するため、お客様にすぐお渡し出来る綺麗なタオルを各指定場所に用意しました。飲み物をこぼされたお客様へ、用意していたタオルをお渡しし、お褒めのお言葉を頂戴しました。

現在のところ、営業中にお客様をお待たせすることなく、洗面台をご使用頂くことが可能となりました。そして謝罪や初期対応に必要な接客接遇についても研修を行い、一人ひとりの接客対応の向上にも力を注ぎました。スタッフの共感も得られ、今後も研修を継続していくこととしました。

このような様々な取り組みを行ったことにより、クレームは起きておりません。スタッフ全員が以前にも増して、安全への取り組みとは何か、より良い作業とは何かを積極的かつ、自主的に考えるようになりました。また、お互いに意見を出し合い、実行や効果を検証することで、業務のさらなる改善にも繋がっております。

私たちの最大の使命は、オーナー様にご満足頂ける質の高いサービスを提供することと、ご利用されるお客様に対して、安全かつ安心な空間作りであると同時に、スタッフが安全に業務を遂行できる環境づくりを今後も引き続き取り組んで参ります。

平成28年度 労働災害防止論文 銀賞

通勤災害体験と対策

株式会社ベルックス 自井 義信

我々労働者の大半は、仕事の為に毎日のように家と職場を往復しています。

出勤時には「今日の仕事の予定は…」と一日の仕事の段取りを考え、帰宅時は「ああ、失敗したなあ…」と、ちょっと反省し落ち込んでみたり、考え事をしながら歩いていることも多いのではないのでしょうか。

しかしながら、時としてその「考え事」が思いもよらぬ災害へと繋がってしまうこともあるのです。いわゆる通勤災害です。

通勤災害は大きく分けて、二次的要因が原因となるものと、本人の過失が原因となるものと二通りあります。二次的要因によるものはなかなか防ぎようがありませんが、少なくとも自分の過失によるものは、注意することで防げるはずです。

また、普段から防災意識を持つことで、目の前のキケンを素早くキャッチし、回避することも出来るのではないのでしょうか。

これは、私が担当する現場の従業員に起きた通勤災害の一例です。

従業員Aさんは、60代前半の男性です。毎日徒歩で通勤していたAさんは、その日も当日の業務の段取り等を考えながら歩いていました。ふと目を上げると、横断歩道の信号機が点滅していることに気が付き、慌てたAさんは小走りに駆け出してしまいます。走ればなんとか渡りきれると判断したAさんですが、そこは年齢か

らくる体力の衰えて、足がもつれ途中で転倒。打ちどころが悪く片膝を骨折して、病院へ救急搬送されてしまいました。病院でAさんから転倒時の状況を聞いた時、「これは、防げた通勤災害だった」と感じざるを得ませんでした。

Aさんが、もっと防災意識を持ち周囲の状況に目配りして通勤していたとしたら、信号機の点滅にも早く気が付き、自分の体力とを考えた合わせ無理に横断しようとはしなかったでしょう。

いかに通い慣れた道であっても、季節や時間帯等によっては状況が変化します。昨日は安全だった道が、今日にはキケンが潜んでいるかも知れません。

また、昨今のニュースを見ても、歩道上の歩行者に車が突っ込んできたり、頭上から物が落ちてきて大ケガをしたり…。一歩外に出ると、キケンがあふれていることに気付かされます。

自分の身を守る為には、もっと周囲に目を向けて、身に迫るキケンに備える必要があるのです。

通勤する際には、周りをよく見てください。単に身を守る為だけでなく、季節の移り変わりを感じたり、気付かなかった街の風景に出会ったりと、新たな発見があるかも知れません。

それが仕事への活力となり、災害防止への意識の向上にも繋がっていくのではないのでしょうか。

平成28年度 労働災害防止論文 銅賞

ヒヤリ・ハット体験と対応

北海道クリーン・システム株式会社 山家香織

私は現在、JRタワーのショッピングセンターの清掃スタッフとして働いています。他のスタッフを含め21名でトイレ、共用通路、エスカレーター、エレベーター、階段及びバックヤードの清掃を担当し、毎日、お客様に快適・安心・満足・心のこもったおもてなしをお届けしています。

さて私は、「安全な仕事環境を目指して」につきまして、「ヒヤリ・ハット」による事故防止を確立し、明るく楽しい仕事ができるような職場作りを行っています。

まず、JRタワーの商業施設では、第一にお客様に対する事故を絶対起こさない事。第二にテナント様のスタッフに対する事故防止。第三に働いている仲間が事故を起こさない、起こさせない事が重要なことであります。

お客様はショッピング、お食事等を大変楽しみにして来店されます。その楽しみを奪うような事故等に遭うと二度と来店しません。又、テナント様のスタッフが元気に接客していただくことが、この施設が未来継続的な発展に繋がると考えます。更に、そこで働いている仲間が安全に働くことが、お客様に対して又テナント様のスタッフさんに対して、私達の重要な役割と考えます。

私達が事故を防止するために、身近に取り組むことができる事は、「ヒヤリ・ハット」です。日常の仕事をしている中で必ず発生する「ヒヤリ・ハット」を職場全体で取り組み、水平展開をして継続的に実行することが重要です。現在、

私は「ヒヤリ・ハット」事例の汲み上げと対策、点呼で水平展開を行う担当をしています。

まず「ヒヤリ・ハット」を提出してもらう方法として、

- 1 1ヶ月に3名ずつ順番に指名します。
- 2 翌月の10日まで提出してもらいます。
- 3 提出が難しい人には体験を具体的に、例えば階段、ドア付近、清掃カートで運搬の際などを聞き取り記入して内容を確認してもらいます。しかし、月を重ねる毎に自分で書けるようになり現在は全員提出しています。

次に提出された「ヒヤリ・ハット」の事例に安全作業から考え対策を記入します。その事例を1日1事例として点呼で紹介し、その場で無差別に指名して、「あなたならどうする」と質問します。答えは全て正解とします。そして情報を共有化します。1ヶ月で3事例同じ手法で実施し継続しています。1年で36事例の水平展開により同じ事故を二度と起こさないように、身近な事例を繰り返しおこなうことにより、常に安全に対する記憶をからだに植え付けることが大事です。

私はこの取り組みをしっかりと展開し「1:29:300」のハインリッヒの法則により「ヒヤリ・ハット」で事故の芽を潰すことにより、仲間不幸な事故を起こさせないで明るい職場を継続・維持し、お客様、オーナー様に信頼される仕事を今後も続けます。

私達の職場は現在も無事故を継続中です。

平成28年度 労働災害防止論文 佳作

労働災害防止対策への提言

札幌施設管理株式会社 熊谷 昌

現場においてヒヤリハットは誰もが経験する事です。労働災害の予兆となる「ヒヤリハット」を、働く仲間全員で理解し活性化させていくことが、危険の要因を顕在化させ、労働災害おけるリスクの低減につながると考えます。

労働災害は主に現場での各作業で発生するが、単にその作業を行っている作業実施者のみの問題ではなく、作業環境等も重要なことと考えます。また事故報告はその日の早い内に行い、職場全員に周知しなければ意味がないと考えます。早くみんなに知らせることが一番大事なことであり、悪い情報ほど、より早く連絡報告をするのが仕事の基本であると私は考えます。特に人の命にかかわる情報はハウレンソウが肝要であるとともに、作業する人全員が周知しなければいけないと思います。

安全対策は、人のエラーやミスが発生しても大きな事故につながらないように、絶えず作業手順書等の見直しを行うことが必要です。作業前には、常に危険予知活動 (KYT) を行い、漫然と作業を行うのではなく、事故に遭うおそれのある危険な状態を、常に予測しながら作業を行う事が必要です。そのことにより、万一、事故を起こしそうになってもヒヤリハットの状況で回避できるのではと私は考えます。

みんなからのヒヤリハットを集計し、分析す

る事によって、何が危ないかを絞り込み、重点的に事故対策を立てることが出来ると思います。作業中の様々な危険の要因を作業員全員が認識することによって、「危険予知」つまり危険感受性が高まれば早めの事故対策が可能となり、労働災害の予防に大きく貢献できると思います。また、「怪我をしなかったから大丈夫だろう」「事故とならなかったから良いだろう」ではなく、ヒヤリハットのアツた作業の検証を行い、作業改善まで行ってはじめて安全対策へと生かされると考えます。

最後に、ヒヤリハットを起こさないことが作業として望ましいのではなく、作業中に何故ヒヤリハットとなったのか、作業の分析を職場全体で行うことが重要であり、また様々なヒヤリハットの事例から、各作業のリスクの洗い出しを行い、各職場から作業改善の発信を続けていく事が労働防止対策につながると私は考えます。

平成28年度 労働災害防止論文 佳作

ヒヤリハット体験と対応

札幌施設管理株式会社 佐藤 勝哉

私は、札幌市営地下鉄の「駅設備保守管理」業務と現在は、「車両基地設備保守管理」業務に携わり、合わせると約10年この仕事を行っています。

駅設備と車両基地設備の違いとしまして、基本的には大きな違いはありませんが、車両基地の特徴として高所での作業が多いと感じます。色々と高所作業をしていて、ヒヤリとした経験があります。

それは、水銀灯の球交換作業時でした。当時は、車両基地の車庫外に設置されている水銀灯の球交換は、梯子を使用し、4名で作業しておりました。「梯子に上る」、「梯子を押さえる」、「球の受け渡し」、「全体を監督」する役割を分担して行いました。私が梯子に上り安全帯を掛ける為に態勢を変えた際に、バランスを崩しそうになってしまい、何とかすぐに持ち直して事なきを得ましたが、ヒヤリとさせられました。もし、この高さから落下していたらと思うと今でもゾッとします。

このような転落してしまう危険だけでなく、軌道内のため、交換箇所へ移動する時に、梯子を持つものは特に歩きにくく、転倒の危険もあります。

細心の注意を払いながら作業をしていても、人間である以上必ずミスやうっかりしてしまいます。この事実から避けては通れないので勇気をもって提案しました。

危険のリスクをいかに一つでも減らしていくか、皆で話し合いを行いました。

色々と話し合いを行った結果、車両基地の車庫外の水銀灯器具は幸い、昇降式と固定式のみの為、本体が固定されているので、ランプチェンジャー（高所ランプ交換器）を使用することができます。梯子を使用せずに、この道具を使用して作業を行えば安全にできるのではないかという結論になりました。

現場に適合したランプチェンジャーが届き、すぐに使用してみました。

すると、梯子を使用して作業するのと比べると、はるかに安全に作業できると感じました。梯子の昇降がなくなった為、転落してしまうリスクもなくなり、移動時も梯子と比べると断然に軽く、持ち運びしやすいので、足元などに、より注意を払えます。

危険のリスクを減らし安全に作業ができるようになっただけでなく、交換までの手順が容易になった為に、作業効率も上がりました。

この件で、現場で作業するものが実際の体験を元に、どうすれば事故や危険のリスクを減らし、安全に作業ができるのかも皆で考え、話し合い、実行することの大切さを感じることができました。

今回の件に限らず、どの作業にも危険が潜んでいることを自覚し、常に「安全第一」で日々業務に従事していきたいと思えます。

平成28年度 労働災害防止標語 入賞者

金賞

健康と安全チェックが作業の基本 しっかり守ってゼロ災職場
第一美装(株) 安田 定夫

銀賞

安全は 基本動作のくりかえし 予知して摘み取る 危険の芽
北海道クリーン・システム(株) 岡崎 友博
クレームは 品質向上の第一歩 真摯に受け止め すばやく対応
第一美装(株) 三輪 安子

銅賞

運転中 スマホ触れる手 心にあてて
(株)トーショウビルサービス 大内 卓
事故のない 現場に芽生える 信頼感
東京美装北海道(株) 札幌支店 山本 宏幸
リスクを見つける確かな目 危険を予知して 無災害
東京美装北海道(株) 千歳支店 六角 ひとみ

佳作

あいまいな理解は事故の元 聞く勇気を持つとうゼロ災害
協和総合管理(株) 鈴木 恵美子
朝の挨拶 みんなの笑顔 明るい職場で 無災害 (株)東洋実業 城戸 光子
朝の挨拶元気な声で 笑顔あふれる 明るい職場 札幌施設管理(株) 岸川 重雄
あせらずに 時間と心に 余裕もつ (株)ベルックス 田口 恵美子
焦る気持ちに 危険が迫る 手順を守って 安全作業 (株)東洋実業 大澤 明広
洗い出せ いつもの業務に潜む罠 みんなで進める危機管理
(株)アサヒファシリティズ 北海道支店 山田 敦史
安全は 聞いて納得見て安心 口に出して再確認
東京美装北海道(株) 札幌支店 高橋 美宣
いいだろう それで良いのか もう一度 (株)東洋実業 菊地 貴仁
今一度 慣れた手順を 見直して 小さな改善 大きな効果
(株)ベルックス 稲垣 奈央子
違和感を察した時は再点検 協和総合管理(株) 斉藤 節雄

怠るな 基本動作と 正しい手順	日本クリーン北海道(株)	岩 崎 慎 護
おこたるな、ヒヤリで済んだあの教訓、みんなで活かし安全職場	(株)アサヒファシリティズ 北海道支店	福 永 功
思い出そう 最初の頃の 緊張感	東京美装北海道(株)釧路支店	太 田 紀 子
通い道 慣れに慣れない 心掛け	協和総合管理(株)	鈴 木 康 文
決めた事 守る勇気と続ける努力 チームワークでゼロ災害	(株)アサヒファシリティズ 北海道支店	土 田 智 大
気を抜くな 自信と過信は紙一重	北海道クリーン・システム(株)	秋田谷 美 保
災害は 小さな油断と 手抜きから 基本を守って 安全作業	(株)東洋実業	深 瀬 一 範
災害は 慣れと手抜きと 気のゆるみ 初心にもどって 安全点検	(株)東洋実業	山之内 正 人
事故は慣れから 油断から 基本に戻って 再確認	(株)東洋実業	永 井 徳 久
睡眠不足 寝ないで仕事 事故の元	札幌施設管理(株)	新井田 惟 之
ストレスチェックでセルフケア 心のメンテナンスを大切に	中央ビルメンテナンス(株)	平 井 慎 也
清掃後 習慣づけよう 指さし確認	第一美装(株)	小野寺 千登世
全員で現場のリスクを洗い出し 対策講じて無災害	(株)アサヒファシリティズ 北海道支店	萱 場 広 一
手抜き、見落とし、思い込み 慣れた手作業に 落とし穴!	(株)東洋実業	藤 野 光 博
何事も 報・連・相で 意思疎通	札幌施設管理(株)	増 田 みどり
日々の点検しっかり確認、今日も一日ゼロ災害	(株)アサヒファシリティズ 北海道支店	栗 原 浩 司
ポケモンで 脇見運転 加害者に	太平ビルサービス(株)旭川支店	小 山 重 雄
無理な作業 しないさせない 心に決めて みんなで築く ゼロ災害	日本クリーン北海道(株)	酒 井 和 子
もしかして 事前に確認、事後確認、習慣付けて安全作業	北海道クリーン・システム(株)	佐 藤 貴 俊
よい仕事 まずは健康管理から	(株)東洋実業	吉 野 ひとみ
ルール違反はその場で注意 見て見ぬ振りが事故のもと 皆で注意安全職場	(株)アサヒファシリティズ 北海道支店	森 下 美 生

新 会 員 紹 介



[入 会 月] 平成28年 9 月 1 日
[所 属 地 区] 旭川地区協議会
[社 名] アサヒ管財株式会社
[協会届出代表者] 代表取締役 米内 渉
[住 所] 〒078-8245 旭川市豊岡15条7丁目4番20号
Tel 0166-32-1300 fax 0166-32-1305

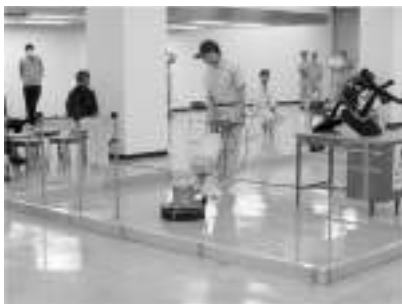
この度 北海道ビルメンテナンス協会に入会させて頂きました、アサヒ管財株式会社と申します。
この歴史ある協会に入会する事ができ、大変 身の引き締まる思いをしております。
当社は、昭和47年に創業致しました。社是である「創造」「理念」「勇気」のもと建物に未来を
拓くチカラを吹き込むため、会員企業として尽力してまいります。
何卒宜しく御願ひ申し上げます。



各地区協トピックス

旭 川 ●第22回ビルクリーニング安全技能大会

5月25日(木)旭川市民文化会館(地下展示場)で、 発揮し金賞・全道大会出場者を目指し奮闘しまし
各社代表4名で日頃の実務と訓練の成果を大いに た。



●ビルメン協会親睦ボウリング大会

11月30日(木)ディノスボール旭川で、13社40名

が参加し開催した。

競技終了後、会場を変え表彰式を行い会員相互の
親睦を深め有意義な時間を過しました。



札幌 ●経営セミナー

8月9日(水)13:30~16:00、ビルメンテナンス会館において、非会員企業3社(有料による参加)を含む26社・62名の皆様にご参加いただき、札幌地区経営セミナーを実施しました。

行動健康科学コンサルタント「ランドスタット株式会社 EAP総研 所長 川西由美子」氏を東京より招聘し、『ビルメンテナンス企業における職場活性化策～仲間を支え個を活かす心理学的技法～』についてご講演いただきました。

冒頭の田中芳章副会長の挨拶では「当業界も人材確保が大きな課題であり、セミナーを通じて人

材の採用と育成を図り、企業の成長や活性化に繋げてほしい」との挨拶がありました。

続いて、川西由美子氏の講演では、前半の部・後半の部に分けて「これからの組織風土改善に必要なこと」、「人のこころを動かす無形効果の高め方」、「やらされ感からの脱却(発信力・受信力)」、「こころの好循環サイクル」、「品質向上意欲のメカニズム」、「ストレス対策としての心の改善同盟」、「心の改善ブリッジ」などについて事例を交えてご講話いただきました。質疑応答では、講師との対話形式で沢山の方々から意見・質問のやりとりが行われました。



●ボランティア清掃

平成28年9月14日(水)、今年で7回目となる札幌市内にある「児童養護施設」のボランティア清掃を「社会奉仕事業」の一環として実施しました。

16社・65名の会員企業のスタッフが4施設にわかれて参加し、午前9時前から正午すぎまで、床面のワックス塗布、ガラス清掃を中心に汗を流しました。担当役員が事前に各施設に出向き、施設関係者や子どもたちでは普段対応できない部分をヒアリングし、重点箇所を定め、清掃箇所を参加企業ごとに分担したうえで、実施いたしました。

3年ぶりに実施した「羊ヶ丘養護園」では、従

来行っていた清掃作業とは異なり、座学形式での清掃技術講義を含め、施設勤務者向けの清掃技術指導を中心に行いました。

当日の様子は翌々日の「北海道建設新聞」に掲載されたほか、参加・協力いただきました企業全社に「社会貢献事業参加証明書」を発行しております。

最後に、ボランティアの受入にご快諾いただいた札幌市様及び施設関係者の皆様、参加された会員企業、並びにスタッフの皆様、資機材協賛等のご協力をいただきました(株)リンレイ様、(株)セイハン様に心より御礼申し上げます。



北見 ●第13回親睦パークゴルフ大会

9月7日(水)雨模様の中、会員企業から5社19人

の参加で開催しました。

小林副会長の挨拶の後、5組に分かれてゲームスタートしました。



●平成28年度アビリンピック北海道大会出場 表彰式

10月26日(水)北海道釧路鶴野支援学校校長室において10月15日(土)札幌市で開催されたアビリンピック北海道大会ビルクリーニング部門に出場した選手2名の表彰式を行いました。

同大会への出場は、平成26年の開校時より清掃実技指導を行ってきた当釧路地区協議会にとっても目標の一つであり、開校3年目にしての初参加は、とても喜ばしいニュースとなりました。

参加選手は7月に行われた校内ビルクリーニング競技大会で優勝した林 悠和君と準優勝の山口竜平君の2名で、両名とも9月から練習を始めま

したが、丁度現場実習の時期と重なり満身に練習時間が取れない中、大会へ向けての特別講習を我々講師とともに、限られた時間ではありましたが、集中して一生懸命取り組みました。

大会当日は釧路地区協議会から深井会長の他、役員、会員4名が応援に駆け付け見守る中、山口君が見事金メダルを獲得することができました。

林君は惜しくもメダルは逃しましたが、練習の成果をいかに発揮し、堂々と競技に挑みとても立派な姿を見せてくれ我々に感動を与えてくれました。



●清掃資機材展示・研修会

10月6日(水)釧路市交流プラザさいわいで、清掃資機材展示・研修会を開催しました。

本展示会は会員、非会員を問わず釧路地域のビルメンテナンス業者を主な対象として、新製品、新技術等を見て、触れることにより各社の技術向

上並びにコストダウンを目的に、また、賛助会員である出展各社の営業展開の一助となることを期待して、平成26年度の第1回に続き開催しました。

当日は、会員、非会員、異業種の方を含め100名を超える皆様にお越し頂き、各ブースを廻られ、機械の実演、最新技術の説明、実際に現場で困っていることの相談等をしながら熱心に見学されて

いました。

展示会終了後、会員及び出展各社の出席で懇親会を開き、今回の反省と次回開催への検討を含め実りある一日を過ごしました。

最後になりましたが、遠方よりご出展いただきました賛助会員各位、並びに会場設営、運営にご尽力いただきました会員各社の皆様に深く感謝申し上げます。

参加企業と主な出展品（敬称略、順不同）

ユシロ化学工業(株)……高耐久高光沢樹脂ワックス
ダブルインパクト他

シーバイエス(株)……無香空間P r o ミスト他
コニシ(株)………タイネックスブラシ他
(株)リンレイ………酸性トイレクリーナーアールズプロ他
ペンギンワックス(株)……A l l w a y L iコードレスマシシリーズ他
タケヤ刷子工業(株)……業務用ロボット掃除機R C D C他
(株)セイハン………ステンレスブラシ各種他
蔵王産業(株)………高速振動ポリッシャーバルチャーオービタル



十勝 ●社会奉仕活動

10月31日(月)午前8時50分より、「十勝地区協議会」恒例の清掃奉仕作業を、帯広市立保育園4施設においてガラス清掃および高所清掃を実施しました。

当日は会員13社、29名が参加し、後藤十勝地区協議会会長の挨拶、帯広市役所より感謝の言葉を頂き4施設の保育園に分かれて作業開始となりました。

参加者全員が完成度の高い技術と安全に心がけ無事終了することが出来ました。



● 苦小牧 ● 清掃奉仕活動

8月18日(木)13:30より、「苦小牧地区協議会」恒例の清掃奉仕作業を「勇武津資料館及び蝦夷地開拓移住隊士の墓」で実施しました。

当日は、前日の大雨から晴天にめぐまれ、会員

10社28名が参加し、佐藤地区協理事の挨拶の後、館長から感謝の言葉を頂き、作業開始しました。

「資料館」「移住隊士の墓」「地藏堂」の各持ち場に分かれ、参加者全員が完成度の高い清掃作業と安全第一を心がけ、協力しあいながら、今年も無事に終了することが出来ました。



● 函館 ● 研修旅行

9月8日～10日の3日間、16社17名の参加人員で鬼怒川・会津若松を中心とした研修旅行を実施しました。

1日目は、新函館駅から北海道新幹線の「はやぶさ10号」に乗車して、仙台で「やまびこ132号」に乗り換えて宇都宮で下車、世界遺産の二社一寺

を見て、台風13号の影響で雨に襲われました。

2日目は、塔のへつり・大内宿・会津武家屋敷・鶴ヶ城を見学。

3日目は、東北自動車道での交通事故の影響で、猪苗代湖・野口英世記念館等を見学した後、仙台から「はやぶさ21号」に乗車して函館に全員無事に帰ってきました。



製品情報

ペンギンニュース 導入現場事例

コードレスシリーズ Li-ionシリーズ 編

Li-ionシリーズの導入で、事故リスクをなくし、作業効率もアップ！

北海道ビルサービス株式会社

北海道の道南に位置し、美しい夜景はもちろん、新鮮な海の幸、伝統的な街並みでも知られる函館市は、平成26年には「日本で最も魅力的な都市」に選ばれた。

ここ函館の銀行や医療施設など、多くの定期清掃の現場で、Li-ionバッテリーシリーズのコードレスマシン「BP-150Li（ポリッシャー）」「BL-24Li（ブロワー）」を使用している、北海道ビルサービス株式会社（本社・札幌市）函館営業所 所長 南 淳一さん、係長 加賀 義久さんにお話を伺いました。

導入の目的は、事故リスク回避

コードレスポリッシャー「BP-150Li」を、展示会で見て、その場でデモ機を使用した南所長は、「仕事の効率が上がる、転倒事故がなくなる」などの理由で「これがいい！」と導入を決めたという。

銀行や支所、医療施設、ショールームなど、いろいろな現場の定期清掃を行っているが、銀行や病院などでは、特に負荷電流を流して、パソコン本体のデータを消失したり、ブレーカーが落ちるなどということはあってはならない。だからコードレスのマシンは、事故リスクを回避するためには最適なのだ。

コンセントの使用に関しても、協力会社が作業に入り、作業後にコンセントを抜いたままにしたため、FAXが使えないことがあったり、コンセントがあっても災害や停電などに備える“非常用電源”のために使用できない場合もあるのだという。

そのため、初めての現場では、使用できるコンセントを探すだけでも大変なのだ。

また、介護付きの分譲マンションでは、施設担当者と綿密に打ち合わせをして作業に入るが、それでも作業中に人が通らないということはない。そんな時でもコードレスなら、お客様はもちろん、作業従事者もコードによる転倒のリスクがなくなるため、安心して作業ができる。

コード付きのポリッシャーは、作業をしながらコードを巻かなければならないし、コンセントを差し替えなければならないが、コードレスの「BP-150Li」を導入したことでその手間がなくなり、「とても楽になった」という。

作業時間も大幅に短縮

導入当初は、戸惑いもあったそうだが、使うことで慣れてくると、作業効率も上がった。銀行のロビー等の作業時間は、「コンセントの差し替えがない分、30分くらい短縮できた」と加賀さん。

大きい店舗ほど作業効率が上がるため、以前はコードを巻いたり、コンセントを差し替えることで、汚水の回収作業と同じ様なペースで進んでいたのだが、その手間がなくなったため、ポリッシャー作業が早くなり、汚水の回収が追いつかなくなっているようだ。



机やコードがあってもBP-150Liで快適に作業をする加賀さん

“同じバッテリーが使えるから”とブロワーも導入

コードレスブロワー「BL-24Li」は、同じリチウムイオン電池のバッテリーが使用できるため、「バッテリーを使いまわしできるのは魅力的」という理由で導入された。

ポリッシャーとブロワーのバッテリーが共用できるため、現場にはそれぞれにバッテリーを搭載し、さらに予備を1つ持って行くのだという。予備を持っていくことで、作業中に電池がなくなったとしても、予備のバッテリーに替え、充電をしながら作業をすることもできる。

充電時間も60分と短時間なので、1日に2つの現場を作業する場合でも、問題なく作業できるという。

床の乾燥には、他社の送風機も使用しているが、他社の送風機はパワーがありすぎて、モノが飛んでいくそう。画鋲で留められた掲示物も飛んでいくほどなので、事前に養生テープで抑えなければならない。

その点「BL-24Li」は、スタンドを使用しなければ下方向に風を送れるため、風力の強い状態でもモノが飛ぶことがない。

また、「BL-24Li」は、軽量（本体：6 kg）なので手で持って移動できるため、一般的な送風機のように移動時の車輪の跡が床面に付くこともなく、きれいな床面を維持することができる。

ただ、「BL-24Li」は風の方向が固定されているので、ルーバーがあるとさらにいいそう。

いいものはみんなで共有

函館で最初に「BP-150Li」を導入した南所長は、同業他社にも「これいいよ」と薦めているそう。そして、「いいものはみんなで共有して使ったほうがいい。みんなに伝えていくのがわれわれの使命」と笑う。

今後の抱負を伺うと、「これからは若い世代の時代だから人材の育成が大切です。有資格者を増やし、自分の位置づけを上げて欲しい」と南所長は期待を寄せる。

多くの現場で、若いスタッフがLi-ionシリーズを使いこなす姿を見る日も近いだろう。

ペンギンニュースの取材されたお客様

北海道ビルサービス株式会社 函館営業所
〒040-0063 北海道函館市若松町15-7-92

函館北洋ビル8F

TEL 0138-23-6561 FAX 0138-23-1495

“安全で快適な環境”を提供し続け、お客様に大きな満足を与え続けている。昭和40年創業。

■コードレスマシンバッテリー適合表

バッテリー	充電器	ウエットバキューム		ポリッシャー			送風機
LV925 9A25.9V	CLQ-1	ウエットバック H12-Li	ウエットバック F30-Li	BP-90Li	BP130Li II	BP150Li	ブロワー BL-24Li
							
—	60分充電	70分	70分	180分	90分	70—50分	220分

コードレスマシンを使えばここが違う！

● 人手不足に必要な対応策

- ① 作業時間帯の変更
- ② 生産性向上(人材育成)
- ③ 高齢者、外国人等の雇用

商品の詳しいお問い合わせ先

● ロスはここまでなくなります！

- コンセントの位置制約
- 作業導線の制約
- コードの取り回し
- コンセント差し替え
- 延長コードの必要性
- つまずき、引掛けの配慮
- 電気使用削減
- 有効電源の確認
- 建物プレーカーコンセント集中
- 場所特性のニーズ、持ち運び



Clean Innovation Company
PENGUIN WAX CO.,LTD.

<http://www.penguinwax.co.jp>

ペンギンワックス 検索

札幌営業所 札幌市東区北13条東14丁目2番1号
TEL: 011-742-3701 FAX: 011-742-3713

濡れた清掃用具も清潔に収納できる 二重構造バケツ

仕切付きバケツⅡ

付け替え可能な仕切板とオプションで現場のニーズに合わせて清掃用具を収納できます。トイレ清掃から各種メンテナンスまで幅広く活躍。



多彩な仕切りアレンジ



汚れの干渉を防止



各種カートにセット可能



清掃小物をスマートに運べる専用バッグ

BMトートバッグS

撥水性ナイロン生地で水場の作業にも活躍し機能性の高いポケットを装備し作業をスマートに。



TERAMOTO 株式会社 テラモト 札幌営業所

〒003-0027 札幌市白石区本通4丁目北6-20
TEL 011(862)5901 FAX 011(862)1944

ピル×シひろば

投稿者

太平ビルサービス株式会社 釧路支店 北村 徹

「毎年の秋」

私の父は、夏の終わり頃、冬眠から覚めた熊のようにせかせかと動きだします。まずは餌づくり、ソウダカツオの塩漬け、作り方は企業秘密だそうです。そしてテント・食料・クーラーボックスそしてリール・錘・竿立て・竿などなどを積んで釧路から離れた海辺に秋鮭を釣りに行きます。海辺に仲間と1ヶ月間近く滞在して毎日釣りをして楽しんでます。テントを張り生活の拠点を作ります。坂があれば木を拾ってきて簡易階段を作り竿置き場も作ります。父が秋鮭釣りを始めて20年、始めたころは土曜日の晩に出かけ、日曜日に帰ってくる繰り返しでしたが、出かけるのが金曜日の晩になり、定年になった年には長期滞在に変わっていきました。滞在期間中の業績は70~110匹と毎年変動し、今年の業績は64匹と過去最低の記録を打ち出しましたが、1日で18匹を釣り上げる快挙もありました。皆さん知っていました？秋鮭の心臓・胃袋・肝臓も三平汁（みそ味）に入れて食べられるんです。釣ったあとに自分で調理して片手にビールを持って仲間と食べるおいしさは最高だそうです。帰ってきたら道具の手入れ、テントの修繕をして来年に向けて段取りをしています。



私の趣味

明治35年に造園された。豪商岩船氏の元別荘で、道内では珍しい日本庭園。起伏が多く小さな谷川も流れる。オンコや杉などを初めとして道内一の庭園樹種を誇り、落葉の時期は特に見事。平成13年には文化財保護法に基づく「名勝」の指定を受け、「旧岩船氏庭園（香雪園）」の名で北海道唯一の国指定文化財庭園となりました。

香雪園（見晴公園）の紅葉



はこだて冬フェスティバル 期間 2016/12/1～2017/2/28
(異国情緒あふれるはこだての街並みが光輝く幻想世界を創り出す、冬の特別なイベントです)

“イルミネーション”



会員の皆様へ

ビルメンひろば 作品募集!!

[デジカメ写真] の部

北海道各地の名所旧跡、各地の風景、ペット、植物園芸等、趣味ダンス、スポーツ等作品を募集しています。

採用された作品は、北翔の「表紙」や「ビルメンひろば」に掲載いたします。

(デジカメ写真サイズは 1枚5メガ以内、作品には簡単なコメントを添えて)

・エッセイ

随筆／随想／業務の体験談等 (題材自由) 1200文字以内

[文 芸 作 品] の部

・短歌／俳句／川柳 1回に各5点まで

- ◎ 作品はメールで連絡先を明記し送信願います。
(連絡先・会員企業名・氏名・連絡先電話番号)

応募受付メールアドレス → bmhiroba@kita-bm.com

- ◎ 締 切 随 時

※ 採用された作品には 記念品を進呈いたします。

※ 採否並びに添削は編集部に一任下さい。

※ 応募いただいた作品は、採用・不採用を問わず返却いたしません。

問い合わせ先 TEL 011-615-1100 (北翔 事務局)

“北翔” おすすめ「製品や技術情報」を募集しています。

製品の特長や商品写真、お問い合わせ先などA4サイズ1、2枚程度 (カラー) で原稿を作成し、北翔事務局にお送りください。

メールアドレス → bmhiroba@kita-bm.com

編集後記

- ◎ あけましておめでとうございます。
皆様には清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
- ◎ 巻頭、北海道知事 高橋はるみ 様、札幌市長 秋元克広 様、から新年のご挨拶を頂き、厚くお礼申し上げます。
- ◎ 当協会理事 阿部 勲 氏 (苫小牧地区協議会会長)、川口 孝志氏 (札幌地区協議会会長) が北海道社会貢献賞を受賞され、栄えある受賞おめでとうございます。
- ◎ 北海道・東北BM協議会、経営セミナー、第54回優良従業員表彰、労働安全衛生大会、平成28年労働災害防止論文・標語の入選作品様を掲載いたしました。
- ◎ 平成28年度の各地区協議会活動の中から数点トピックスとして掲載しました。
- ◎ おすすめ製品や技術情報の紹介ページは、賛助会員2社より提供いただきました。
- ◎ “ビルメンひろば” に各地区協議会広報担当に協力いただき投稿作品を掲載しました。

編集責任者 広報委員長 川 口 孝 志

建築物を利用される人々の安全・衛生、快適な環境を維持・改善するため、その場所で働いている人達等に対し、法律に基づく従事者研修等を主に実施している研修センターです。



一般財団法人
北海道建築物衛生管理研修センター

〒060-0003
札幌市中央区北3条西17丁目2番3号 ビルメンテナンス会館
TEL (011) 615-1100 / FAX (011) 615-7055

”魅せる清掃”を通じてビルメンテナンスの本質を
社会に伝え、業界発展に貢献します。



環境美化用品総合メーカー

TERAMOTO

大阪・東京・名古屋・札幌・仙台・埼玉・横浜・広島・福岡
<http://www.teramoto.co.jp/>

ISO9001 八尾工場
認証取得 成田工場

ISO14001 八尾サイト(八尾工場)
認証取得 成田サイト(成田工場・成田物流センター)





トイレ洗浄剤

トイレクリーナー 酸性 トイレクリーナー 中性



(酸性タイプ)

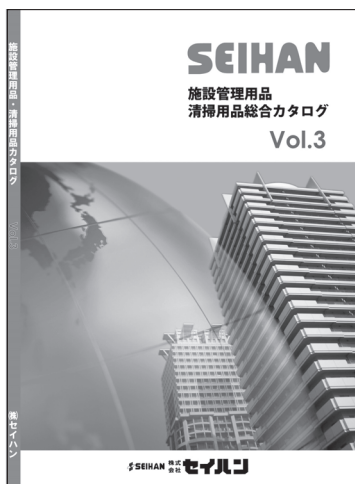


(中性タイプ)

- もちやすいボトルで、タレずに吐出量がコントロールできる経済的ノズル
- 粘性タイプで垂れ落ち、飛び散りが少なく泡切れもよいので作業性良好です。
- 界面活性剤と特殊微粒子研磨剤配合で便器の汚れ、水垢、黄ばみを簡単に除去します。
- 除菌剤配合。 ●さわやかなフローラルミントの香り。

コニシ株式会社 <http://www.bond.co.jp/>

大阪本社	大阪市中央区道修町 1-7-1(北浜 TNKビル)	06(6228)2911	東京本社	東京都千代田区神田錦町 2-3(竹橋スクエア)	03(5259)5739
札幌支店	札幌市東区北八条東 3-1-1(宮村ビル)	011(731)0351			



「清掃用品」はお任せ下さい。

SEIHAN 株式会社 セイハン

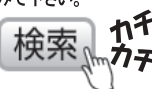
本社	〒003-0832	札幌市白石区北郷2条2丁目2-14 TEL011-873-2000 FAX011-873-2100
旭川営業所	〒078-8243	旭川市豊岡13条6丁目3-6 TEL0166-35-7878 FAX0166-34-7588
帯広営業所	〒080-2470	帯広市西20条南4丁目20-6 TEL0155-58-2500 FAX0155-58-3300
仙台営業所	〒984-0051	仙台市若林区新寺3丁目10-36 共立輸送ビル TEL022-792-5211 FAX022-792-5220
東京事業部	〒124-0023	東京都葛飾区東新小岩1丁目15-19 大一産業ビル TEL03-6657-7201 FAX03-3691-0887

人と地球を守る
やさしい環境づくりに。



ホームページもございます。よろしければ是非、検索してみてください。

www.seihan.biz





ウェットバキューム

TASKI バキューマット 220T JBMA

平成25年度より採用

- ▶ビルクリーニング技能検定実技作業試験 (公益社団法人全国ビルメンテナンス協会実施)
- ▶ビルクリーニング科単一等級技能士コース訓練 (一般財団法人建築物管理訓練センター実施)

KING evolution

定期管理の新たなステージへ
進化するキングシリーズ



新処方 × FEMS

ステンレスが、美しくよみがえる。

ステンレスクリーニングが進化しました。簡単な作業で、ムラや曇り、クスマのない元の美しい表面に仕上げます。



ステンクロス クリーン&ポリッシュ 65mL

ステンクロス リフレッシュA 500mL

ステンクロス 中和剤B 2L

www.cxs.co.jp [▶今すぐクリック](#)

大切な場所には、きっと。



シーバイエス株式会社
●札幌営業所/〒003-0807 札幌市白石区菊水7条2丁目7-1(札幌流通倉庫ビル) TEL.011-817-6765 FAX.011-817-6768

刷子及び清掃用品の製造並びに販売

生活と環境に「キレイ」を届ける タケヤ刷子工業株式会社

各種刷子/業務用ワックス・洗剤/清掃用資機材/厨房衛生用品他 <http://www.takeyaburashi.co.jp>

本社	〒060-0031	札幌市中央区北1条東2丁目4番地	TEL(011)221-3116	FAX(011)241-0036
函館営業所	〒040-0072	函館市亀田町20番10号	TEL(0138)41-3480	FAX(0138)41-9004
旭川営業所	〒078-8218	旭川市8条通18丁目右7号	TEL(0166)34-6100	FAX(0166)34-6700
帯広営業所	〒080-0801	帯広市東1条南20丁目1番1	TEL(0155)27-1681	FAX(0155)22-0191
東京営業所	〒343-0844	埼玉県越谷市大間野町4丁目155	TEL(048)986-1351	FAX(048)989-0878
北海道工場	〒072-0006	美唄市東5条北9丁目3番18号	TEL(0126)63-3961	FAX(0126)63-3962

世界初! 洗浄プログラム制御

鍵管理システム搭載で均一清掃を実現



業務用自走式床洗浄機
BR 45/40 W Bp プレミアム



違いを生む ケルヒャーの床洗浄機

■鍵管理システムで均一な清掃が可能

世界初の鍵管理システム(KIK)を採用。2種類の鍵で権限を分け管理者が清掃内容を設定し、作業者は設定の範囲内で清掃を行います。作業者を選ばずどなたでも均一な清掃結果が得られます。



■簡単操作で効率よく清掃

自走式のため、作業の際や移動時の負担を軽減します。また、作業者が操作するスイッチ類は色分けされており、操作ミスを防止します。

■経済性にすぐれた洗剤節約システム

洗剤を必要な量だけ直接ボトルから投入できるので、無駄がなく経済的です。また、タンクが汚れないので、後処理の手間がありません。

ケルヒャー ジャパン株式会社

札幌支店 TEL:011-879-2181

〒003-0871 北海道札幌市白石区米里1条2丁目10番6号

ホームページ <http://www.karcher.co.jp>

KÄRCHER®

makes a difference

リンレイ さらに進化したRook 17シリーズ

Rook17快をさらに進化させた「Rook17快Q(アルファ)」とベーシック&ハイスペック コンパクト機「Rook17 ZERO(ゼロ)」の2機種で皆様の声にお応えします。

インテリジェント サイレンス システム搭載。

Rook17 快



充実した基本性能と使いやすさを追求。

Rook17 ZERO



株式会社 **リンレイ** 業務製品事業本部

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座 4-10-13 TEL.03(3541)4851(代)・東京 03(3543)2281・大阪 06(6394)4571・名古屋 052(581)8241
札幌 011(521)5271・仙台 022(223)6868・広島 082(232)2333・高松 087(834)2738・福岡 092(883)7000

<http://www.rinrei.co.jp/>

美しく、爽な環境をつくる

清掃用品ならなんでも揃う

CLEAN & BEAUTY

HOKUSEI

北清産業株式会社

〒001-0903 札幌市北区新琴似3条2丁目
TEL (011) 761-8151(代)
FAX (011) 764-4693

豊富な品揃えで、現場をサポート！

レンタル品目

高所作業車・橋梁点検車・トラック各種・
仮設機材・仮設ハウス・測量機器・照明器
土木機械・発電機・溶接機・コンプレッサー・
高圧洗浄機・フォークリフト・荷役機械・
無線機・除雪機・暖房機・電設機材 etc...



ロータリーモア



家族のまさお



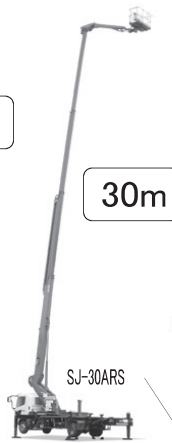
クボタ 乗用刈払機



塵芥車 最大積載量 2t



40m



30m



12m



高所作業車 12m~40m
現場にあった機種をご用意致します！



美装用品~プロ用フロアメンテナンス機器~

SK LEASE エスケーリース株式会社
Lease & Rental
TEL:011-775-4141 FAX:011-775-4588

本社 札幌市北区百合が原6丁目1-20
西センター 札幌市西区発寒17条3丁目
白石センター 札幌市白石区米里3条2丁目7-2
大谷地センター 札幌市白石区流通センター4丁目4-32
HP: <http://www.sk-lease.co.jp> Email: head@sk-lease.co.jp

WetVac | F-30Li



Clean Innovation Company

ペンギンワックス株式会社

本社・工場 大阪市東淀川区東中4-3-10-14 (〒537-0021)

CORDLESS コードレスウェットバキューム(固定スクイジー) コードレス掃除機 ペンギンワックス 検索

圧倒的な作業効率!

・バッテリーを搭載したままでも
2階、3階へラクラク持ち運び!

・電源コードの制約から解放され
洗浄作業が早く、効率的に!

・連続長時間作動、急速充電
バッテリー交換も簡単!

・電源を探したり、ブレーカーを
落とす心配も無用!



連続稼働
約70分

充電時間
約60分

※①、②はバッテリー-LV925、充電器
CLV9251を使用した場合です。

●バッテリー交換も簡単



●汚水排出方法は2パターン



Allway Liコードレスマシンシリーズ
バッテリー、充電器が共有できて便利!



●コードレスフロア
BL-24Li

●WetVac
H-12Li

●SP-130Li/V150Li

別売でツールキット
もございます。

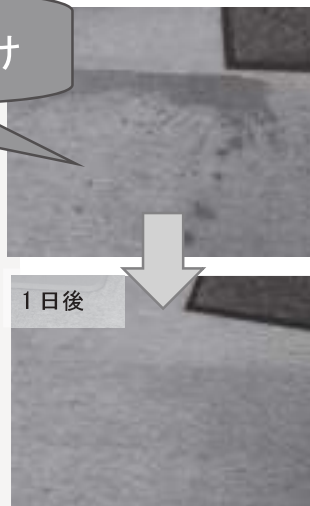
スプレーするだけで作業不要! カーペットのシミ消しに

こんなにひどいシミもスプレーするだけ

YCM - 水性シミ消しα

シミにスプレーして放置するだけで、拭き取り作業
は不要です。飲料や食べこぼし跡の色素を分解して
漂白します。食堂や休憩所など、食べこぼしのシミ
が多い場所に最適です。

用途: コーヒー、ジュース、ワイン、血液、汗、
タバコのヤニなど水溶性のシミに



1日後



ユシロ化学工業株式会社

北海道営業所 TEL: 0144-56-5871 FAX: 0144-56-5872

〒053-0022 北海道苫小牧市表町 5-4-7 苫小牧第一生命ビルディング 3階

CORELEX 業務用トイレに最適!

3倍巻ロールの〈コアレス〉だから、こんなに便利でお得



- ① 取り替え手間が3分の1
- ② 収納スペースも2分の1
- ③ トイレがつまる原因となるボール芯が無く、ゴミも減量。

更にカギ付きだから
盗難の心配は
ありません。

トイレットペーパー・ティッシュペーパー・タオルペーパーのことなら

コアレックス道栄株式会社 札幌営業所

〒060-0004 札幌市中央区北4条西15丁目1番14号 コアレックスビル 4階

TEL (011) 633-2323 FAX (011) 633-4555



北海道新幹線を
ユニフォームで
支えています。



ユニフォームのことなら、私たちへご相談ください。



UNIFORM IDENTITY 〒003-0002

IMAGE WORK

札幌市白石区東札幌2条1丁目5番17号 カンコー学生服ビル
TEL:011-374-4811 FAX:011-374-4855

詳しくはこちらをチェック!

イメージワーク

検索



ほく しょう
北 翔 (新年号)通巻109号 平成29年1月20日

発行所 一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会
〒060-0003 札幌市中央区北3条西17丁目2番3号
ビルメンテナンス会館
電話(011)615-1100・FAX(011)615-7055

発行 代表者 山田 春雄

編集者 広報委員会